

国際ロータリー第2790地区第3分区B ガバナー補佐挨拶

■郭 福男 ガバナー補佐

国際ロータリー2790地区第3分区A・Bのロータリアンの皆さんこんにちは、いつも地区ロータリー活動に深いご理解を賜り厚くお礼申し上げます。

去る、8月4日開催されました、2015~2016年度国際ロータリー第2790地区第3分区A・B合同主催によるインターナショナルミーティング「IM」に多くの皆さんに参加を賜りました。第2790地区では今年度最終のインターナショナルミーティングになりましたがロータリアン皆様のご協力のお陰を持ちまして盛大の中無事終了することが出来ました。ご紙面をお借りして重ねてお礼を申し上げます。誠にありがとうございました。

本年度、櫻木英一郎ガバナーは各会員の皆様にガバナー自らのロータリーに対する考え方を直接伝える機会としてIMでの基本講演の場を設けました。

内容については2790地区内14クラブ全分区のIMでラビンドランRI会長のテーマである「Be a gift the world」の解説のお話、櫻木英一郎ガバナーの地区行動目標である（原点を知り、考える）の意味。そして地区の活動方針伝える機会として講演されました。第3分区A・Bに於いても内容については地区方針の一つである（ロータリーをやさしく理解する）をテーマに具体的な話をされました。IMのプログラムに時間の制約もあってその場でガバナーに直接に質疑が出来なかったことが非常に残念でありましたがこのIM後のガバナー公式訪問で質疑を行うことでIMの本プログラムが終了しました。私の感想では長く感じられない90分でしたが「ロータリーをやさしく理解する」このテーマ、皆様は如何でしたでしょうか。更に来るガバナー訪問で上記の論点などに理解を深めることを期待したいと思います。

本公演で少々お疲れになった身体を第2部の懇親会のリラクゼーションタイム、ピンクレディの歌謡を聴きながらほぐして頂いて全プログラムが終了しました。お疲れ様でした。このIMを主催するにあたり千葉西ロータリーそして千葉緑ロータリー両クラブで櫻木英一郎ガバナーの目指すIMは一体どのような内容で進めたらいいのか、又、それをどのようにするべきか、事前に十分な打ち合わせを行いました。そして（ロータリーをやさしく理解する）を主テーマにプログラムにすることとしました。

そして当日各ロータリアンの皆様を迎えるにあたりどの様なおもてなしの方法、更に90分の講演ばかり長いので休憩が必要かなど、楽しい懇親会にするには綿密な打ち合わせが必要でした。

至らない点多々あったと思いますが、ロータリー精神でお許しいただきたいと思います。

結びに千葉西ロータリークラブ山本康昭ガバナー補佐様、藤崎泰裕幹事様、千葉緑ロータリー両クラブの皆様にも此のIMが終わるまでご苦労をおかけしました事、厚く御礼申し上げますとともに感謝します。

最後になりますが第3分区のロータリアンの皆様に幸多からん事をご祈念申し上げますとともにお礼の挨拶とさせていただきます。



■第3分区AB合同インターナショナルミーティング

第3分区A 千葉ロータリークラブ
新千葉ロータリークラブ
千葉中央ロータリークラブ
千葉幕張ロータリークラブ
千葉東ロータリークラブ
千葉若潮ロータリークラブ
千葉西ロータリークラブ

第3分区B 千葉南ロータリークラブ
市原ロータリークラブ
千葉港ロータリークラブ
市原中央ロータリークラブ
千葉北ロータリークラブ
千葉緑ロータリークラブ
総勢 515名の会員、266名の登録

■講演

「ロータリーをやさしく理解する」 国際ロータリー第2790地区 櫻木英一郎ガバナー

■懇親会アトラクション 「オレンジ・レディ」



本日の出席	総 数	対象者	出 席	欠 席	出席率	二コニコBOX	合 計	次週のプログラム
	60名	60名	60名	0名	100%		0円	
前々回修正	メキキャップ	出席	欠席	出席率		累計	8月18日(火) 広報情報委員会主催 クラブフォーラム 東天紅 点鐘12:30	
	1名	48名	11名	79.63%		426,500円		